

臨床研究情報

当院で上部消化管癌の治療を受けられた患者さん・ご家族様へご協力をお願い

NTT 東日本関東病院 病理診断科、腫瘍内科では、以下の臨床研究を実施しております。

この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者に当たると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究にご自身の診療記録を使用して欲しくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の問い合わせ先、もしくは倫理・医療監査委員会事務局へご連絡ください。

研究課題名

シングルセルレベルでの空間プロテオミクス解析による上部消化管癌の多様性の解明および免疫治療効果予測マーカーの同定

研究実施機関

NTT 東日本関東病院 病理診断科、腫瘍内科

研究責任者

森川鉄平

研究の意義と目的

胃癌は本邦において、悪性新生物による死亡の第3位であり、また胃から食道にかけて発生する食道胃接合部癌、およびバレット食道癌も増加傾向にあります。これら胃ないしは食道胃接合部に発生する上部消化管腫瘍の空間的多様性を解明しその意義を解明することは、上部消化管腫瘍制圧のため重要な課題です。加えて、免疫チェックポイント阻害薬を含む胃癌治療薬の効果を予測する空間バイオマーカーの同定は、個別化医療の推進および医療資源の適切な配分にとって非常に重要です。本研究では、シングルセルレベルでの空間プロテオミクス解析によって、上部消化管腫瘍の多様性を解明し治療効果予測マーカーを同定することを目的としています。

対象となる方

当院で上部消化管癌（胃癌または食道胃接合部癌）の組織が採取され、2017年1月1日～2023年6月30日の間にニボルマブ（オプジーボ）単剤療法を受けられた方が対象となります。

実施方法

本研究では上記の期間に当院で上部消化管癌の組織が採取された受診者様を対象とします。本研

究では病理診断が終了した後のパラフィンブロックを使用し、スイス国のチューリッヒ大学、スイス連邦工科大学チューリッヒ校にて免疫組織化学、免疫蛍光染色、イメージングマスサイトメトリー等を用いたプロテオミクス解析を行います。これらの手法により腫瘍組織の微小環境における細胞構成や細胞同士の位置関係、組織構築を明らかにし、当院の電子カルテや病理診断科のデータベースから抽出された臨床病理学的情報や予後、治療効果に関する情報との関連を明らかにします。本研究で使用される臨床試料はすでに収集されている検体になります。そのため、データ提供者への本研究による物理的な侵襲・心理的負担は生じません。

実施期間

倫理審査承認後、2029年3月31日まで

個人情報の取り扱い

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように匿名化して扱います。

学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は研究終了後、10年間保管いたします。保管期間終了後、本件急に関わる記録・資料は個人が特定できない形で破棄します。

費用

患者様の費用負担はありません。

利益相反

本研究に関する利益相反は一切ございません

同意の撤回

ご本人または、その代理人の求めがあれば情報を破棄いたします。ただし、すでに解析を終了している場合には、その結果を破棄することが出来ません。ご自分のデータの使用をお断りになっても、治療に不利益を受けることはありません。

問い合わせ窓口

NTT 東日本関東病院 病理診断科 森川鉄平

東京都品川区東五反田 5-9-22

電話番号 03-3448-6111